

今日までギターを相棒に歌い続けてきた梅原司平。幾度もの挫折を経て、それでも夢を追い求めたフォーク・シンガーの歌がこれだ。

優しく語りかけるように歌う。日常のひとつコマへのさり気ない眼差しに、ふっと救われる思いすらする。継続こそが力だろう。(民)(CD ジャーナル データベースより)

11月11日(土)19:30～
戸隠高原・音楽ロッジ「アコールド」
11月12日(日)14:00～
JAグリーンホールミナミ

2017年

11月13日(月)

開場 18:00

開演 18:30

会場 バスティ高府

前売券

大人 2000円
(当日 2500円)

小・中・高生 1000円
(当日 1200円)

主催 梅原司平コンサート
小川村実行委員会

後援 小川村
小川村社会福祉協議会
小川村商工会

協力 小川村ライブ実行委員会
(株)小川の庄
森の宿 林りん館

小川村二度目の来村

梅原司平コンサート

懸命に生きているあなたと、
あなたの子どもたちへの応援歌



梅原司平プロフィール

1946年富山県生まれ。1971年より音楽活動を開始。1975年全国シャンソンコンクール決勝進出。1979年モーリスフォークコンテスト入賞、CBSソニーオーディション関東甲信越代表。1980年ソニーより念願の全国デビューを果たすが……。

歌い続けて45年。現在もコンサートやCDを通して、広島・長崎への思いを歌った「折り鶴」や、子どもたちへのメッセージソング「ここへおいで」、東日本大震災の日に生まれた「うたのちから」、福島第一原発事故をテーマにした「望郷」など、弱者に寄り添う魂の歌を全国に届けている。

東松島市において信州・小川村あつたかおやきプロジェクトが主催した「ふんばれ音楽祭」にも出演。

ふる里からの手紙

帰れない街 戻れない家 語りつくせぬ思い
常磐線のさびたレールに 蔦が絡まっていた
あまりに突然 奪われた日常 いつものあの日返して
何気ない暮らしに とけこんだ微笑み
それさえあれば人は皆 生きていける
ああ ふる里 それは私の命
ああ ふる里 それは私のすべて

ヒロシマ・ナガサキの被爆の悲惨さと復興を歌い上げたオリジナル曲「折り鶴」などで知られ、命の尊さを歌い続けるシンガーソングライター梅原司平さんの、心に響くコンサート。「折り鶴」誕生三十五周年記念）人間愛に満ちあふれたトクと熱い祈りを込めたメッセージソング。梅原司平さんは教育、人権、環境、平和……さまざまな社会問題に目を向け、ひとりひとりの思いを受け取り、大切に歌い続けます。

会場 バスティ高府 小川村高府 8504 電話 026-266-0044
問合せ 森の宿林りん館 〒381-3303 信州・小川村小根山 8000-4 TEL026-269-3455 Fax026-269-3470
<http://www.rinrincan.com> e-mail info@rinrincan.com